



(仮称) 枝川駅周辺地区 まちづくり提案書



令和6年7月

(仮称) 枝川駅周辺地区まちづくり協議会

はじめに

(仮称)枝川駅周辺地区まちづくり協議会は、「江東区地下鉄8号線沿線まちづくり構想」における(仮称)枝川駅周辺の目指す姿を踏まえたまちづくりを推進するため、令和5年6月に設立されました。

この度、(仮称)枝川駅周辺地区まちづくり協議会で今後目指すべき地域の将来像を「まちづくり提案」として取りまとめましたので江東区長に提出します。

(仮称)枝川駅周辺地区では、このまちづくり提案書を基に地域活動を進めていきたいと考えております。

江東区には、地域とともにまちづくり提案の実現に努めていただき、区が「(仮称)枝川駅周辺地区まちづくり方針」を策定する際は、まちづくり提案を考慮した検討を進めていただくようお願いします。

令和6年7月

(仮称)枝川駅周辺地区まちづくり協議会

会長 橋本 敏之

目次

第1章 (仮称) 枝川駅周辺地区まちづくり協議会の組織概要と進め方	1
1. (仮称) 枝川駅周辺地区まちづくり協議会設置の目的	1
2. まちづくり協議会の構成	1
3. まちづくり協議会の進め方	1
4. (仮称) 枝川駅周辺地区の定義	1
第2章 (仮称) 枝川駅周辺の現況と課題	2
1. 上位計画：「江東区地下鉄8号線沿線まちづくり構想」	2
2. (仮称) 枝川駅周辺に住んでいる人々・働いている人々	3
3. 安全・安心	5
4. 暮らし・憩い	7
5. 水辺・環境	9
6. 交流・にぎわい	10
7. 交通・つながり	11
8. (仮称) 枝川駅周辺の課題	12
第3章 まちづくり提案作成のプロセス	14
1. これまでの検討経緯について	14
2. まちづくりアンケート調査結果について	15
3. (仮称) 枝川駅周辺地区まちづくり協議会活動報告会について	18
第4章 まちづくり提案	19
1. (仮称) 枝川駅周辺地区の目指す姿（全体目標・基本方針）	19
2. ゾーン等区分設定とゾーン等の個別目標・取組アイデアの例	20
第5章 まちづくり協議会の各回の内容	21
1. まちづくり協議会の各回の内容について	21

第1章 (仮称) 枝川駅周辺地区まちづくり協議会の組織概要と進め方

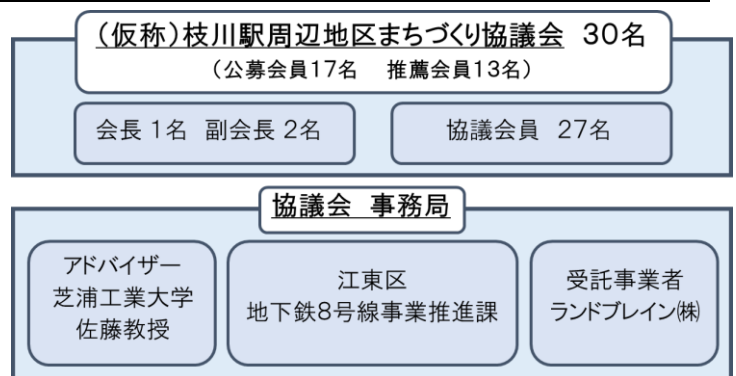
1. (仮称) 枝川駅周辺地区まちづくり協議会設置の目的

令和5年3月に策定された「江東区地下鉄8号線沿線まちづくり構想」(以下、「沿線まちづくり構想」)を基本として、まちの目指す姿やその実現に向けた取組の深度化を図るとともに、(仮称)枝川駅周辺地区のまちづくりを推進するため、令和5年6月に「(仮称)枝川駅周辺地区まちづくり協議会」(以下、「まちづくり協議会」)が設立された。

2. まちづくり協議会の構成

会員は、枝川・塩浜・潮見(以下、「(仮称)枝川駅周辺」)に在住・在勤する17名の公募会員と、各町会から推薦された地元企業を含む13名の推薦会員による全30名にて組織し、会長と副会長は、互選により決定した。

また、アドバイザーとして芝浦工業大学の佐藤宏亮教授にご参加いただいた。



3. まちづくり協議会の進め方

令和5年6月の設立以降、まちづくり協議会を全8回実施し、まちの目指す姿やその実現に向けた取組の深度化を図り、地域意見を「(仮称)枝川駅周辺地区まちづくり提案書」(以下、「本提案書」)として取りまとめた。

また、本提案書取りまとめまでに、「(仮称)枝川駅周辺地区まちづくりニュース」(以下、「まちづくりニュース」)を5回発行し、(仮称)枝川駅周辺のまちづくりに関するアンケート(以下、「まちづくりアンケート」)を3回実施した。また、「(仮称)枝川駅周辺地区まちづくり協議会活動報告会」(以下、「協議会活動報告会」)の開催により、まちづくり協議会員以外の周辺地域の皆様に具体的なまちづくりの検討状況を周知し、ご意見を伺うことで、本提案書の深度化を図った。

4. (仮称) 枝川駅周辺地区の定義

地下鉄8号線の延伸に伴う(仮称)枝川駅の設置予定位置を中心に、枝川一・二・三丁目と塩浜二丁目の一部、周囲の運河を含む範囲を「(仮称)枝川駅周辺地区」と定義した。

なお、地域の現況把握は、「(仮称)枝川駅周辺(枝川一・二・三丁目、塩浜一・二丁目、潮見一・二丁目)」を基本とし整理した。



第2章 （仮称）枝川駅周辺の現況と課題

1. 上位計画：「江東区地下鉄8号線沿線まちづくり構想」

① 概要

「沿線まちづくり構想」は、地下鉄8号線の延伸による整備効果を区の発展に最大限に活かすため、沿線の目指す姿やその実現に向けた取組の提案を取りまとめることにより、今後の地下鉄8号線沿線まちづくりの方向性を示すことを目的に令和5年3月に策定された。

「沿線まちづくり構想」では、沿線まちづくりに重要な5つのテーマとして、「安全・安心」、「暮らし・憩い」、「水辺・環境」、「交流・にぎわい」、「交通・つながり」を掲げ、これらを基本に、沿線全体で目指す姿を『人・暮らし・自然を相互につなぎ一体的に発展する「快適環境都市」』と設定されている。また、各駅周辺で目指す姿においても、以下の通り設定されている。

② 「沿線まちづくりのテーマ」と「目指す姿」



出典：「江東区地下鉄8号線沿線まちづくり構想」（令和5年3月、江東区）

③ （仮称）枝川駅周辺で目指す姿

『水辺に囲まれ、安らぎとにぎわいが調和する環境推進拠点』

水辺に囲まれた立地条件や、既存の環境学習施設を活かした憩いや交流の場の充実を推進するとともに、中間新駅設置に伴う土地利用転換を見据え、日常の買い物ができる商業機能等を誘導し、現在の落ち着いたまちと新たなにぎわいが調和したまちが目指す姿として設定された。



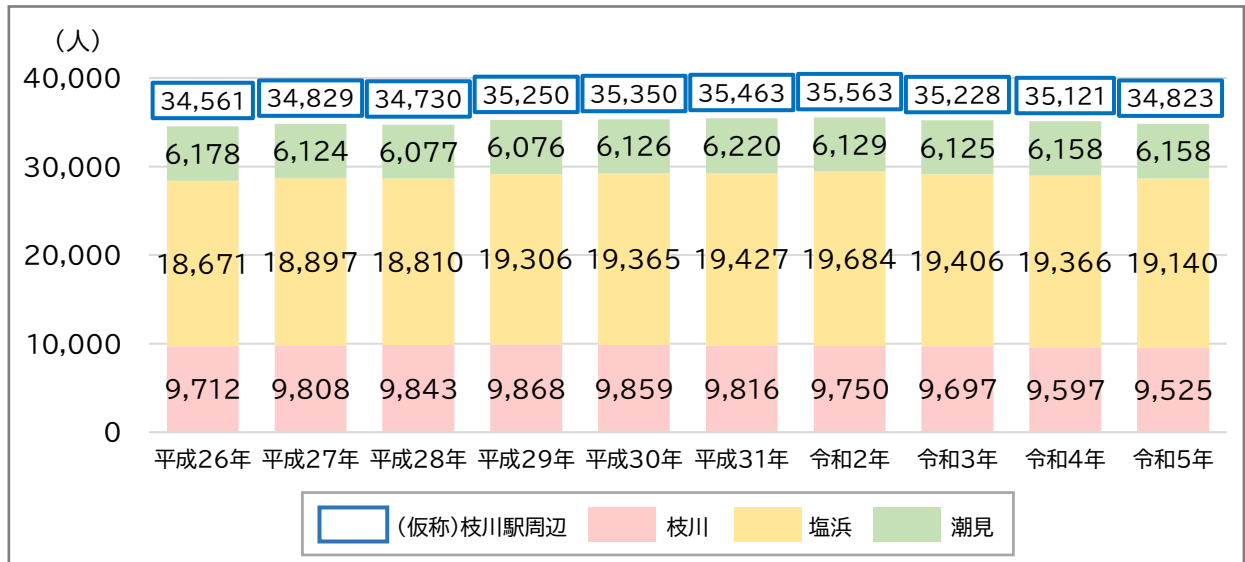
出典：「江東区地下鉄8号線沿線まちづくり構想」（令和5年3月、江東区）

2. (仮称) 枝川駅周辺に住んでいる人々・働いている人々

①人口の推移

- ・(仮称)枝川駅周辺の人口は、令和2年に35,563人でピークを迎えて以降、減少に転じ、令和5年1月時点で34,823人となっている。
- ・「沿線まちづくり構想」では、清澄白河の事例で人口や乗降客数が増加していることから、新駅周辺でも人口や来街者が増加することが想定されている。

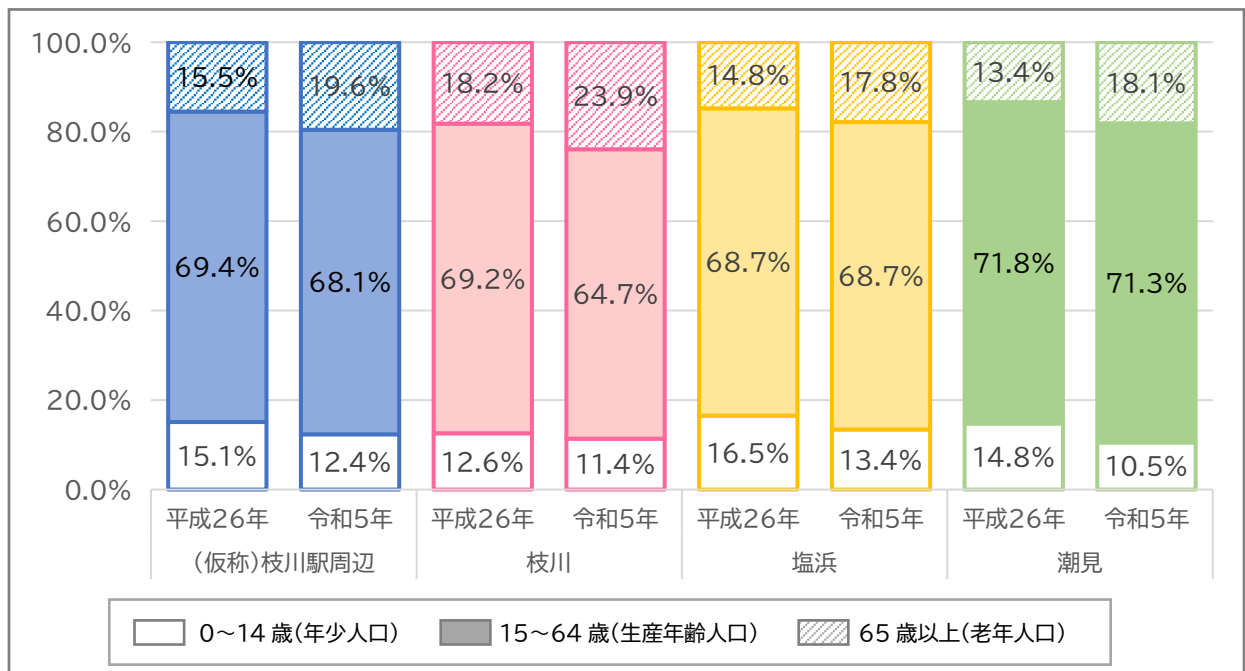
■人口推移



「住民基本台帳」(各年1月1日時点、江東区)を基に作成

- ・(仮称)枝川駅周辺の区分別人口は、平成26年と比較して、老年人口の割合は4.1ポイント増、年少人口の割合は2.7ポイント減となっており、老年人口が増加傾向、年少人口が減少傾向にある。

■年齢3区分別人口

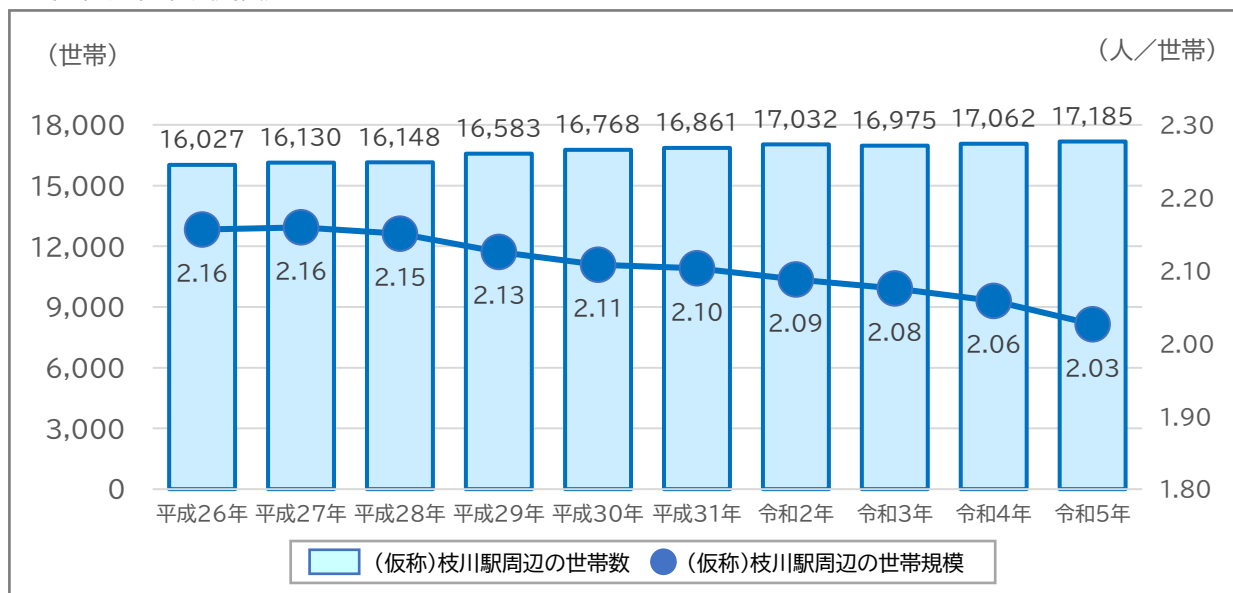


「住民基本台帳」(各年1月1日時点、江東区)を基に作成

② 世帯数、世帯規模の推移

- ・ (仮称)枝川駅周辺の世帯数は平成26年と令和5年を比較すると16,027世帯から17,185世帯となり、増加傾向にある。
- ・ 世帯規模は平成26年と令和5年を比較すると2.16から2.03となり、縮小傾向にある。

■世帯数、世帯規模推移



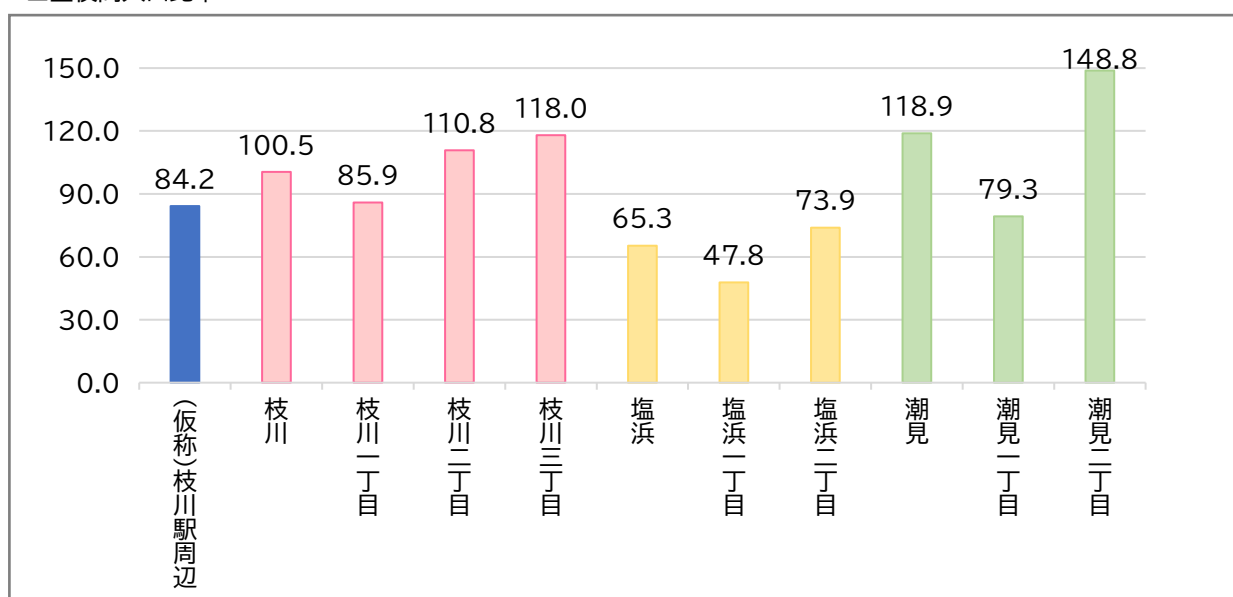
「住民基本台帳」(各年1月1日時点、江東区)を基に作成

③ 昼夜間人口比率

- ・ 枝川地域と潮見地域では、昼夜間人口比率※が100を超えていることから、他地域からの通勤・通学者が多いことが伺える。

※(昼夜間人口比率 = 昼間人口 ÷ 常住人口(夜間人口) × 100)

■昼夜間人口比率



「令和2年国勢調査による東京都の昼間人口(従業地・通学地による人口)」(東京都)を基に作成

3. 安全・安心

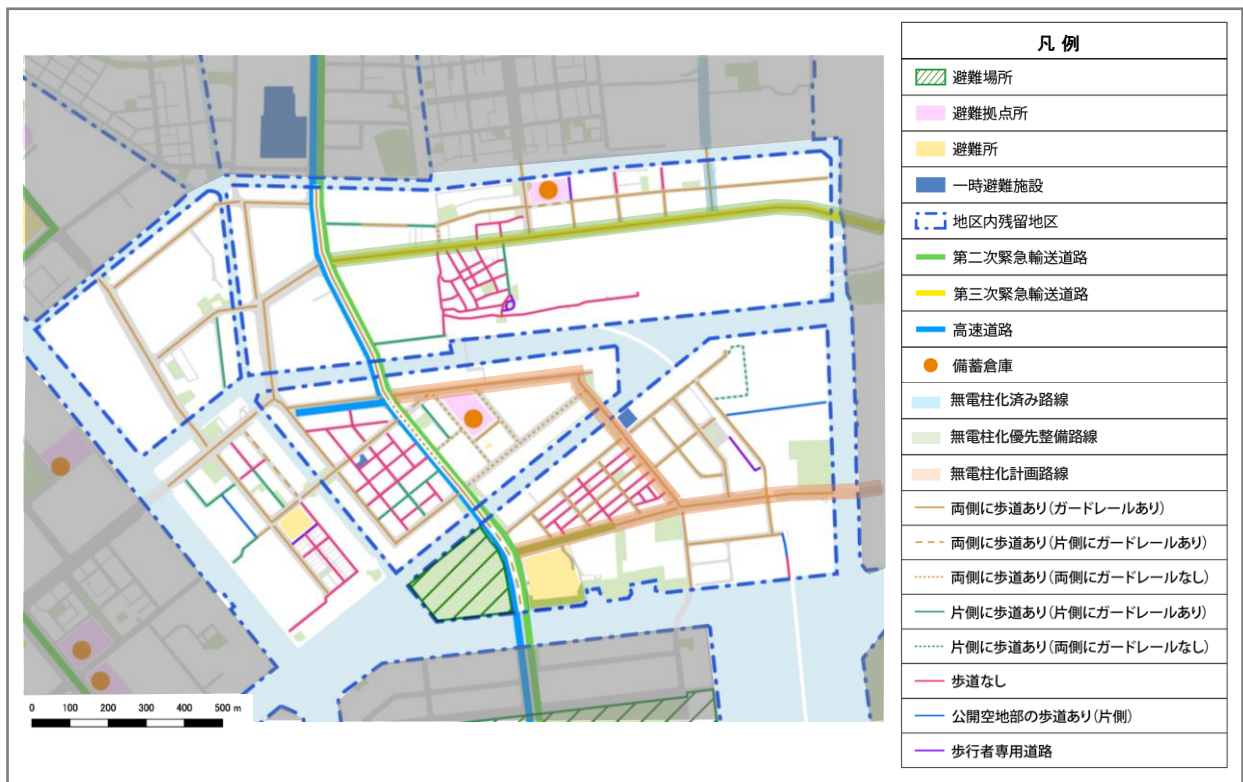
① 自然災害

- ・「江東区ハザードマップ」において(仮称)枝川駅周辺は、荒川の堤防が決壊した場合に、浸水の想定される水深が他地域に比べ低いとされる一方、下水道等の施設の処理能力を上回る大雨が発生した場合では、最も深い場所で3.0m、東京湾に高潮が発生した場合には、最も深い場所で5.0mの浸水被害が想定される。
- ・平成18年以降、枝川一丁目で2回、塩浜二丁目で1回、潮見二丁目で1回、道路冠水の記録がある。

② 防災まちづくり

- ・(仮称)枝川駅周辺では、潮見運動公園が避難場所に指定されており、枝川小学校、深川第八中学校が拠点避難所、環境学習情報館(えこっくる江東)、枝川区民館、東京朝鮮第二初級学校が避難所に指定されている。
- ・枝川一丁目を除き、地区内残留地区(万が一火災が発生しても、地区内に大規模な延焼火災のおそれなく、広域的な避難を要しない区域)に指定されている。
- ・首都高速、塩浜通りが緊急輸送道路に指定されているほか、(仮称)枝川駅周辺における道路の一部において、緊急道路障害物除去路線に指定されている。
- ・街区内の道路の多くは幅員6m以上の道路で構成されているが、枝川地域の一部では幅員4m未満の狭い通路が存在している。
- ・塩浜二丁目の一部の路線で無電柱化済みとなっており、将来の無電柱化に向け、塩浜通りが優先整備路線に位置付けられているほか、潮見地域内の道路や枝川地域と潮見地域を結ぶ道路において計画路線(中期的な視点で無電柱化を整備することが望ましい路線)として位置付けられている。

■防災まちづくりに関するマップ



「江東区防災マップ」(令和5年3月時点、江東区)、現地調査を基に作成

③ 歩行者空間

- ・ (仮称)枝川駅周辺の道路では、ガードレールが整備されている路線が見られる一方で、(仮称)枝川駅が設置される予定の枝川二丁目周辺には、ガードレールのない道路も多く見られる。
- ・ 枝川二丁目の平久運河沿いの道路の一部でバリアフリー化など、安全な歩行空間の整備が進められている。

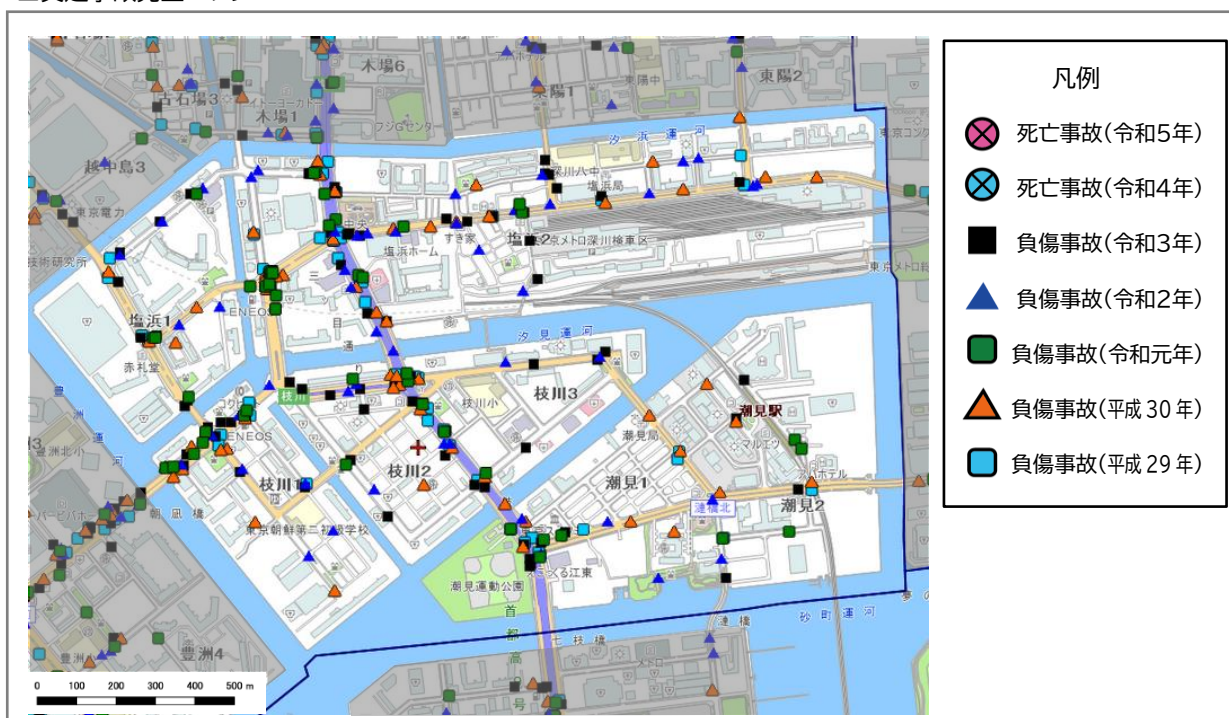
■歩道のバリアフリー化



④ 交通安全

- ・ (仮称)枝川駅周辺で発生する交通事故の大半は幹線道路沿いで発生している。特に、三ツ目通りや白鷺橋から豊洲に向かう路線の沿道では負傷事故が多く、自転車に関する事故も多く発生している。

■交通事故発生マップ

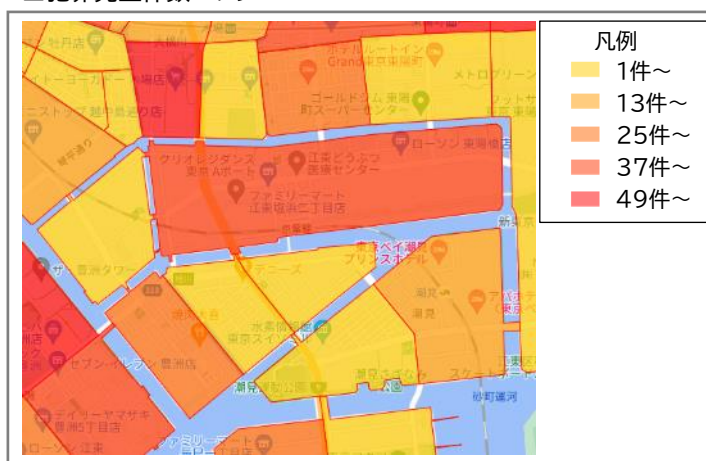


「警視庁公表データ」(令和5年9月時点、警視庁)を基に作成

⑤ 防犯まちづくり

- ・ 大型ショッピングセンター等がある豊洲地域や木場地域など、人の流れが多い区域では、犯罪認知件数が多い傾向にある。
- ・ (仮称)枝川駅周辺で最も多い犯罪は、「非侵入窃盗」の45件であり、「非侵入窃盗」のなかで「自転車盗」が14件と最も多く発生している。

■犯罪発生件数マップ



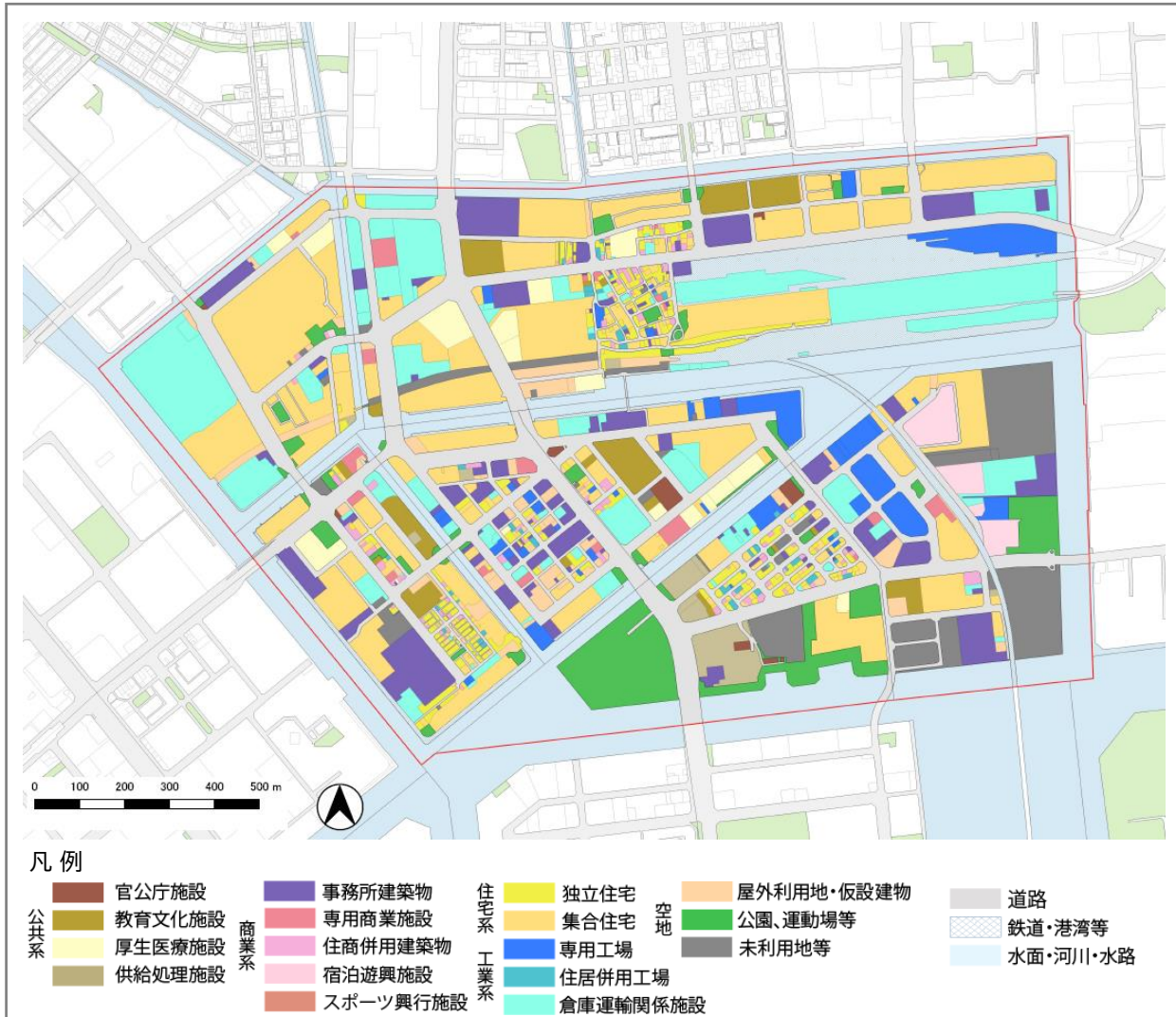
「警視庁公表データ」(令和5年9月時点、警視庁)を基に作成

4. 暮らし・憩い

① 土地利用

- ・（仮称）枝川駅周辺において、地域の面積に対する集合住宅の占める面積の割合が17.7%、倉庫運輸関係施設の割合が10.2%となっている。
- ・（仮称）枝川駅が設置される予定の枝川二丁目では、事務所建築物及び専用工場、倉庫運輸関係施設が集積しており、枝川三丁目には、区民館や児童相談所といった公共施設が立地している。

■土地利用現況

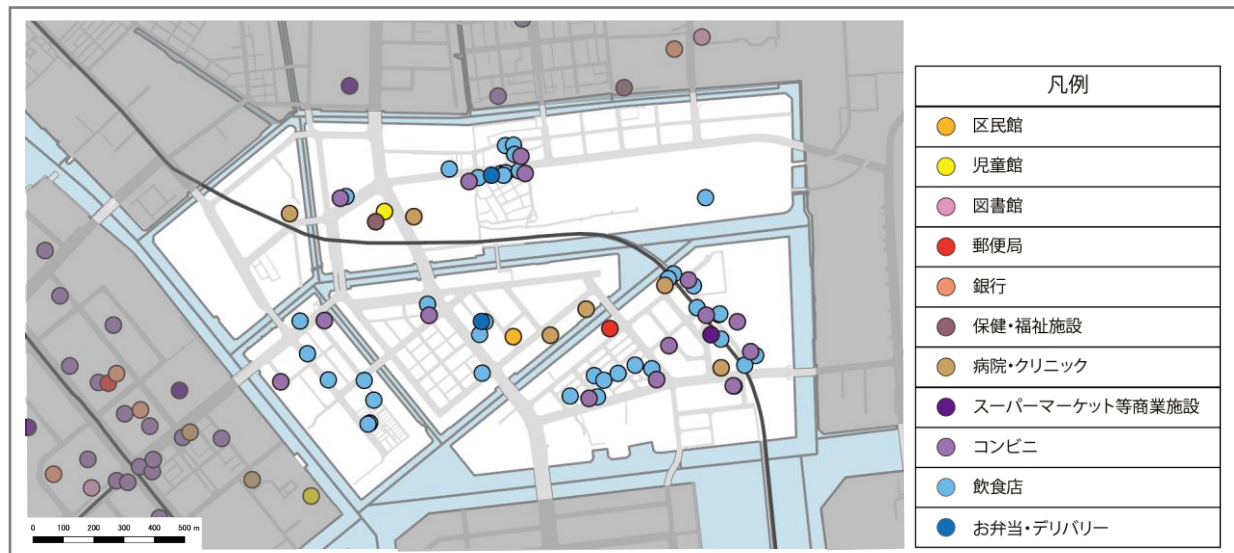


「令和3年土地利用現況調査」（東京都）を基に作成

② 商業施設等利便施設の立地状況

- ・（仮称）枝川駅周辺においては、児童相談所や区民館といった公共施設が立地しているが、地下鉄8号線沿線の各駅の特徴と比較して（仮称）枝川駅の周辺では商業施設等が立地していない。

■（仮称）枝川駅周辺における利便施設

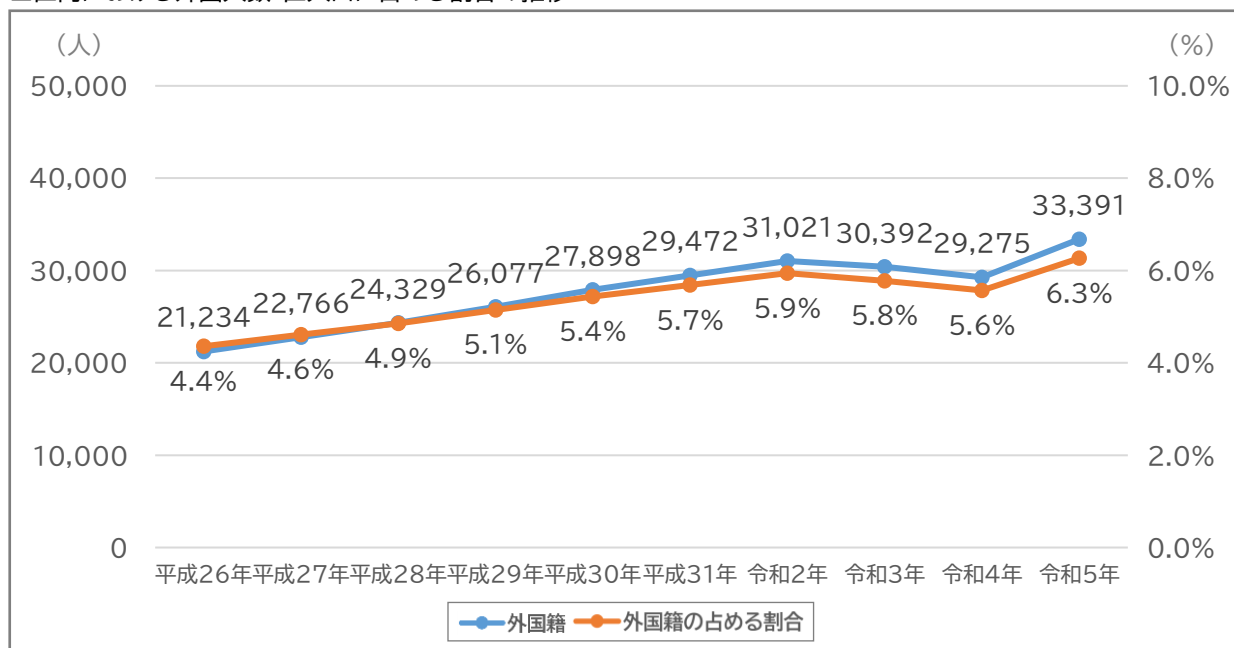


「令和3年度土地利用現況調査」(東京都)を基に、「江東区データブック 2023」(令和5年4月時点、江東区)の情報を加えて作成

③ ユニバーサルデザインのまちづくり

- ・（仮称）枝川駅周辺において、65 歳以上の老年人口の割合は 2 割程度であり、特に枝川地域における高齢化率の増加が顕著となっている。
- ・ 区内の外国人の割合は、区全体人口に対し6.3%となっており、全体として増加傾向にある。

■区内における外国人数・区人口に占める割合の推移



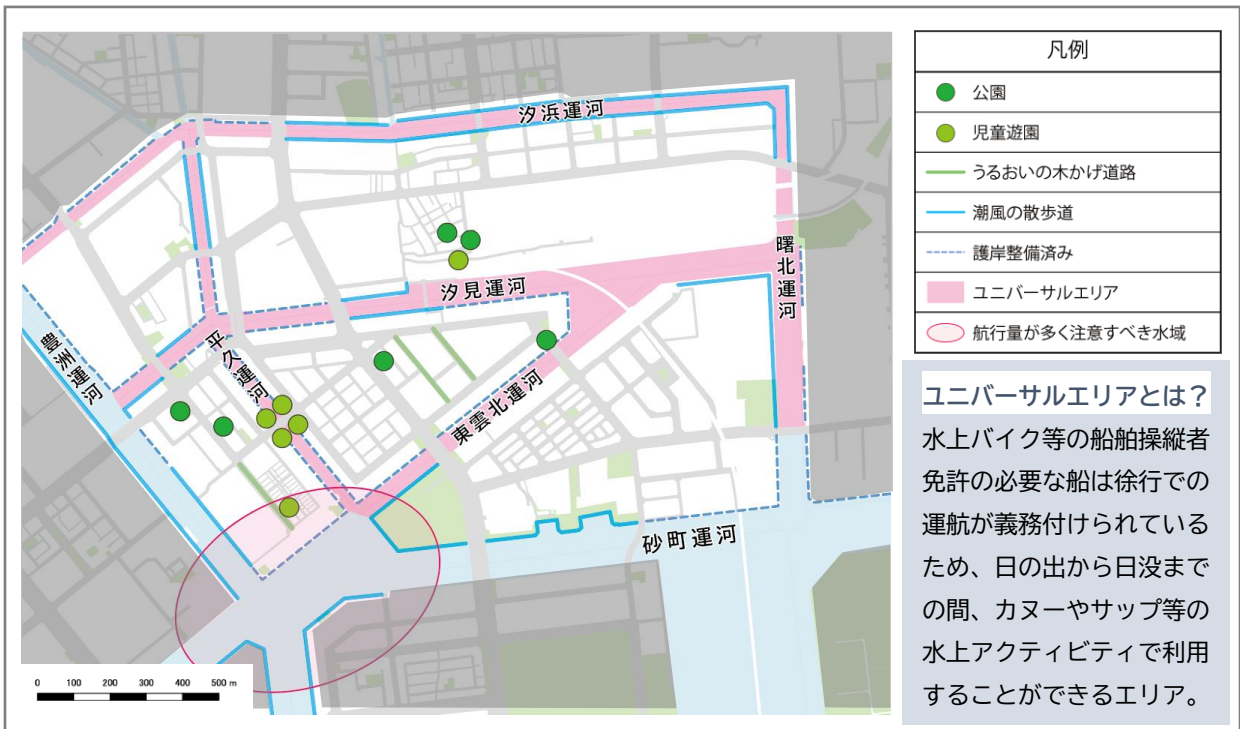
「住民基本台帳」(各年1月1日時点、江東区)を基に作成

5. 水辺・環境

① 公園・みどり・水辺

- ・ (仮称)枝川駅周辺では、公園12箇所、児童遊園10箇所が整備されている。
- ・ 平成29年度の緑被率は14.2%※であり、江東区全体の緑被率18.7%と比べ低い傾向にある。
(※『平成29年度江東区緑被率等調査報告書』を基に算出)
- ・ 汐見運河、豊洲運河において、運河に沿った散歩道が整備されているが、部分的に途切れている場所がある。
- ・ 江東区内を流れる運河のうち、(仮称)枝川駅周辺を取り囲む5運河(汐浜運河、汐見運河、曙北運河、東雲北運河、平久運河)のみがユニバーサルエリアに指定されている。

■(仮称)枝川駅周辺の公園・みどり・水辺



「令和3年度土地利用現況調査」(東京都)を基に、「江東区データブック 2023」(令和5年4月時点、江東区)、「東京港の運河利用のルール・マナー」(令和5年4月時点、東京都港湾局)等の情報を加えて作成

② 上位・関連計画

- ・ 「運河ルネサンスの推進方針」(東京都)では、推進方針の一つとして、「護岸や周辺建築物などの緑化、遊歩道の整備、水質浄化、良好な水辺景観などを創造する」ことが掲げられている。

③ 環境学習の機会

- ・ 環境学習施設である水素情報館(東京スイソミル)、および環境学習情報館(えこっくる江東)が立地しており、各施設において環境に関する学習機会が提供されている。

■運河ルネサンスの活動



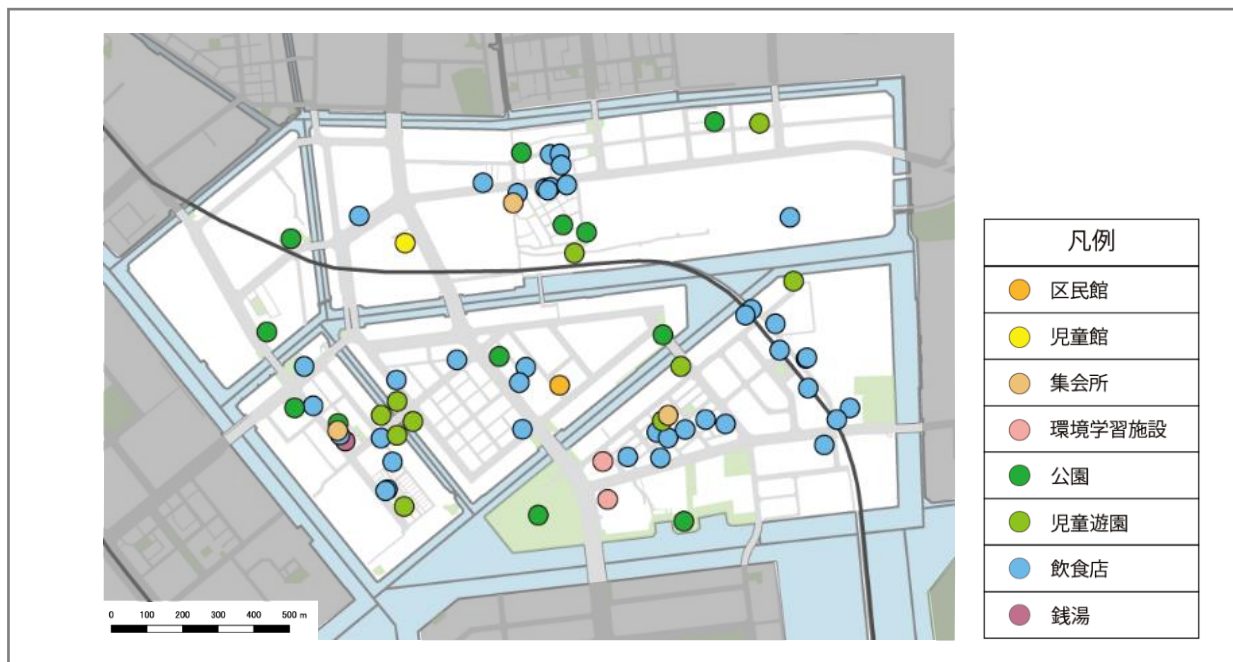
出典:「東陽・新砂地区運河ルネサンス協議会Webページ」
(東陽・新砂地区運河ルネサンス協議会)

6. 交流・にぎわい

① 交流空間

- ・（仮称）枝川駅周辺には、枝川区民館や集会場（塩浜東、枝川西、潮見）があり、事前予約を行うことで自由に使用が可能となっている。
- ・ 交流空間の場として、公園・児童遊園が 22 箇所ある。

■（仮称）枝川駅周辺の交流空間



「令和3年度土地利用現況調査」（東京都）を基に、「江東区データブック 2023」（令和5年4月時点、江東区）の情報を加えて作成

② コミュニティ活動

- ・ 令和3年度江東区世論調査において、（仮称）枝川駅周辺を含む豊洲地区では、9割は定住意向があり、そのうち「ずっと住みたい（住むつもり）」は42.9%（区全体48.6%）となっている。
- ・ 令和5年4月に実施した「第1回まちづくりアンケート」において、地域活動に参加していない区民の割合は「まったく参加していない」が40.8%、「あまり参加していない」が29.4%となっている。
- ・ 枝川二・三丁目町会が中心となった地域の祭りは、令和5年に4年振りに開催され、2,700人（主催者発表）の来場があった。

■枝川まつり（令和5年）の様子



③ 観光資源・地域資源

- ・ 水素情報館（東京スイソミル）、環境学習情報館（えこっくる江東）などの施設があり、令和5年には旧渋谷家住宅が移築され、教育に係る文化・観光資源が多く立地している。
- ・ （仮称）枝川駅周辺は、深川八幡祭りや深川めしなど江戸の文化が息づく深川エリア、亀戸天神社や砂町商店街など見所満載の城東エリアと、豊洲や有明など開発が進み未来的な雰囲気漂う臨海部エリアに挟まれている。「沿線まちづくり構想」では、清澄白河の事例が示されており、新駅周辺で来街者が増加することが想定されている。

7. 交通・つながり

① 交通環境

- ・ 駅から800m以上(徒歩10分程度以上)の鉄道空白地帯が広がっているが、(仮称)枝川駅が設置されることにより、(仮称)枝川駅周辺の大半が鉄道駅から徒歩10分圏内となることが期待される。
- ・ 区南北を結んでいるのは主に都営バスであり、東陽町駅、木場駅(及び住吉一丁目)から(仮称)枝川駅周辺を経由して豊洲駅を結ぶ路線、錦糸町駅から枝川二丁目を経由して豊洲駅を結ぶ路線のほか、潮見駅と木場駅を結ぶコミュニティバスの路線がある。

■「枝川二丁目」を経由するバス路線

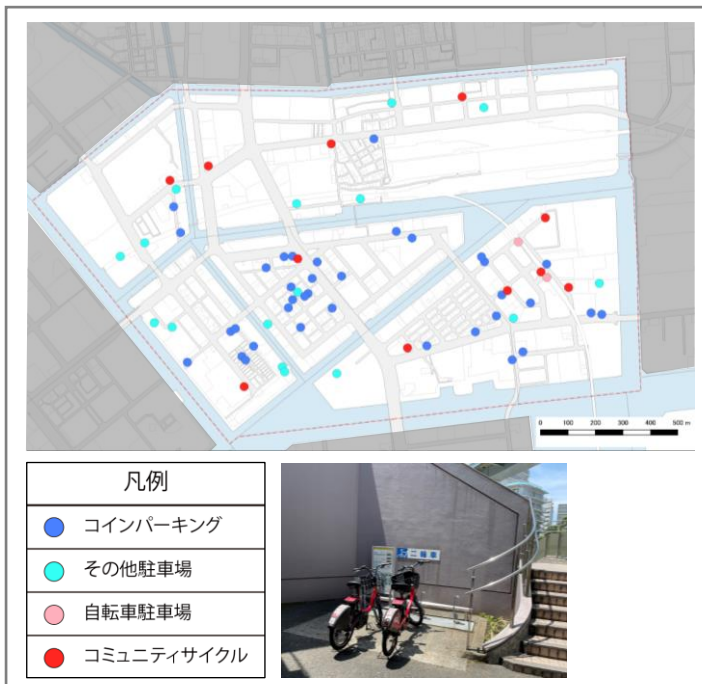
行き先	路線数	1日当たりの本数
東陽町駅	3本	平日:42便/日 土日:55便/日
木場駅	1本	103便/日
錦糸町駅	1本	52便/日
豊洲駅	5本	210便/日

「都バス路線図みんくろガイド」
(令和5年4月時点、東京都交通局)を基に作成

② 自転車駐車場・駐車場及び自転車通行空間

- ・ 枝川二丁目を中心にコインパーキングの分布が多くみられる一方、自転車駐車場はない。
- ・ 区内には、185箇所のコミュニティサイクルポートが設置されており、うち(仮称)枝川駅周辺には、11箇所が設置されている。
- ・ 自転車通行空間について、「江東区自転車利用環境推進方針」に基づき整備が進められおり、計画に位置付けのある区道については、区施工表示(ナビマーク・ナビライン)及び警視庁施工表示(ナビマーク)の整備が完了している。

■(仮称)枝川駅周辺における自転車駐車場・駐車場の設置状況



「令和3年度土地利用現況調査」(東京都)、「バイクシェアサービス(東京広域)」(ドコモ・バイクシェアWebページ)及び現地調査を基に作成(令和6年1月時点)

■(仮称)枝川駅周辺における自転車通行空間整備状況図



「江東区内の自転車通行空間整備位置図」
(令和4年3月時点、江東区)を基に作成

8.（仮称）枝川駅周辺の課題

整理した6つの現況ごとに（仮称）枝川駅周辺の課題を整理した。

■（仮称）枝川駅周辺に住んでいる人々・働いている人々	
新駅設置に伴う利便性の向上を加味した居住環境の確保	倉庫や工業系のまちとしての印象が強いが、居住地としての側面もある。新駅が設置されることで鉄道空白地帯の解消などがなされ、利便性の高い地域となった際には、住宅やオフィス等が増加し、昼夜間人口比率が変動することも想定される。 そのため、居住環境の確保など適切な土地利用の誘導が課題であると考えられる。
今後の人口動向に対応したまちづくりの視点の必要性	世帯規模が減少傾向にあること、高齢化の傾向にあることから、高齢者の単身世帯や高齢夫婦のみの世帯が増えていることが想定されるため、高齢化に対応したまちづくりが課題であると考えられる。
■安全・安心	
地震や火災に強いまちづくり	一部地域では、木造住宅が密集している状況の解消や地域防災力の向上が課題であると考えられる。
水害に強いまちづくり	水害時の拠点避難所、自主避難施設となる公共施設や、一時避難施設の協定を締結した民間施設等を拡充するとともに、浸水時に避難等ができる建物を整備し、これらを面的に広げていくことが課題であると考えられる。
安心して暮らすことのできるまちづくり	現状多く発生している自転車盗難への対策に加え、新駅の設置に伴う来街者の増加が想定されることも踏まえ、人目の届かない場所や暗い場所等において、防犯カメラや街灯の設置等を行うなどまちなかの死角を無くすことが課題であると考えられる。
安全性が確保された安心して利用できる歩行空間の確保	学校や住宅周辺等、歩行者が多いと考えられる箇所のほか、新駅設置に伴い歩行者の増加が見込まれる箇所では、歩道の整備など歩行者と車・自転車の通行空間の分離による安全性確保や交通事故の発生を防ぐための取組が課題であると考えられる。
■暮らし・憩い	
新たな土地利用の誘導による地域のにぎわいづくり	新駅設置予定の枝川二丁目では、現状工業系用途（倉庫・工場等）が集積しているが、新駅設置に伴い、現状との調和を図りつつ、新たなにぎわいの創出につながる土地利用の誘導が課題であると考えられる。 新駅の設置に伴う来街者の増加により、にぎわいの創出が期待される一方で、現状の静かで生活しやすい環境を維持するため、活気と静けさのバランスの取れたまちづくりが課題であると考えられる。
利便施設の充実など不足機能の誘導	商業系用途の土地利用が少ないことを踏まえ、生活利便性の向上に向け、日常の買い物ができる商業機能の充実が課題であると考えられる。
ユニバーサルデザインのまちづくり	高齢者の身体機能変化への配慮や、子育て世帯への配慮、増加傾向にある外国人への対応等を踏まえ、誰もが使いやすく安全で安心な環境をつくるため、ユニバーサルデザインのまちづくりが課題であると考えられる。

■水辺・環境	
既存の緑と水辺を活用したまちづくり	住環境と調和した自然環境の形成に向け、身近な自然として既存の緑や水辺に愛着をもち、維持・保全することが課題であると考えられる。
新たな水辺を活かしたまちづくり	運河における、水上アクティビティ等の活用や運河の水質改善への取組や運河に囲まれた立地条件を活かした散歩道の回遊性向上を図るため、散歩道周辺の近隣住民への十分な配慮が課題であると考えられる。
持続可能な社会に向けた身近な環境を意識したまちづくり	環境学習施設における講座等の学習機会を活かしながら、身近な環境の保全など持続可能な社会づくりが課題であると考えられる。
■交流・にぎわい	
人が気軽に集まれる場づくり	地域のつながりづくり・にぎわいづくりに向け、低未利用地も含めた土地利用の誘導等による交流機能の形成が課題であると考えられる。
地域コミュニティの活性化	自分たちが暮らす地域とのつながりを保ちながら、いつまでも暮らし続けていくため、また災害等発生時における共助の体制が構築できるよう、既存の地域コミュニティの活性化が課題であると考えられる。 新駅の設置に伴い居住人口の増加が想定されるため、新旧住民をつなぐコミュニティ形成のための情報周知・場づくりが課題であると考えられる。
地域資源等をつなぐ観光連携の形成	水素情報館（東京スイソミル）、環境学習情報館（えこっくる江東）、旧渋沢家住宅等の地域資源を結ぶ枝川・塩浜・潮見の連携充実に加え、区内他地域との観光連携体制の形成が課題であると考えられる。
■交通・つながり	
新駅の交通結節点としての機能強化	（仮称）枝川駅の設置による新たな交通網を補完するため、（仮称）枝川駅を基点に各施設等を結ぶ二次交通の充実や、駅及び駅周辺のユニバーサルデザインによる移動円滑化等、交通結節機能の強化が課題であると考えられる。 あわせて、自転車の利用者の増加が見込まれることから、（仮称）枝川駅周辺における自転車駐車場の確保や、新たに商業施設等が建設された場合の、来場者に対応した自転車駐車場の確保が課題であると考えられる。
新たな交通ネットワークの形成	運河を活用した水上交通等、地域特性を活かした新たな交通ネットワークの形成が課題であると考えられる。
安全、快適な歩行者・自転車ネットワークの形成	ウォーカブルに資する歩行空間や連続した自転車通行空間ネットワークの形成に向け、自転車の通行可能な空間の確保による歩行者の安全性確保が課題であると考えられる。

第3章 まちづくり提案作成のプロセス

1. これまでの検討経緯について

本提案書の提出を目標に、まちの目指す姿やその実現に向けた取組等についての検討を全8回のまちづくり協議会の中で実施した。

まちづくり協議会の各回では、ワールドカフェ方式※¹、ワークショップ形式、スクール形式、まち歩き※²等の手法を用いて、活発な意見交換や議論を行った。

また、検討項目を大きく5つ(①まちの魅力と課題・可能性 ②まちづくり提案図※³ ③(仮称)枝川駅周辺地区の範囲 ④目指す姿【全体目標・基本方針】※⁴ ⑤ゾーン等区分設定【個別目標・個別方針】※⁵)に区分し、まちづくり協議会員がイメージするまちの将来像やまちづくりに対する想いを基に、実現可能性等を踏まえながら検討を行った。

また、枝川小学校からは学校運営上の観点でまちづくりに対するご意見を頂戴し、アドバイザーである芝浦工業大学佐藤研究室からは取組アイデアや実現策についてアドバイスをいただいた。

そのほか、まちづくりアンケートや活動報告会での意見交換を通じて、まちづくり協議会員以外の地域の皆様のご意見を頂戴し、検討項目を深度化する上での参考とした。

■これまでの検討経緯

	第1回 令和5年 6月14日	第2回 令和5年 7月1日	第3回 令和5年 9月26日	第4回 令和5年 10月26日	第5回 令和5年 12月5日	第6回 令和6年 1月17日	令和6年 2月4日	第7回 令和6年 2月21日	第8回 令和6年 6月19日	令和6年 7月
まちの 魅力と課題 可能性	ワールド カフェ	まち歩き								
まちづくり 提案図			素案作成	案作成						
(仮称)枝川 駅周辺地区 の範囲				案作成						
目指す姿 【全体目標・ 基本方針】			素案作成		案作成					
ゾーン等区 分設定 【個別目標・ 個別方針】					案作成					
						活動報告会の準備	活動報告会	最終案の作成	まちづくり提案書のとりまとめ	まちづくり提案書


 まちづくりニュース第1号
(5月)
第1回アンケート
(4月28日～5月25日)
⇒第1・3回で反映


 まちづくりニュース第2号
(8月)


 まちづくりニュース第3号
(11月)
こどもアンケート
(11月20日～12月12日)
⇒第7回で反映


 まちづくりニュース第4号
(1月)
第2回アンケート
(1月15日～2月5日)
⇒第7回で反映


 まちづくりニュース第5号
(3月)

※¹ ワールドカフェとは、小グループで席替えを繰り返すことで、参加者全員が話し合っているような効果が得られる話し合いの手法のこと。

※² 第1回で皆様から頂いたご意見などを記入したまち歩きマップを見ながら、(仮称)枝川駅周辺を歩いた。

※³ まちづくりのアイデアについて、「どこで」、「何を行うか」を示した取組アイデアとともにその実現可能性をあわせて地図にプロットしたもの。

※⁴ (仮称)枝川駅周辺地区において目指すべき姿(全体目標)とそれを実現するための方針(基本方針)のこと(詳細は【本提案書第4章】)。

※⁵ (仮称)枝川駅周辺地区の範囲内をゾーニング(ゾーン・軸・ネットワーク等に区分を設定)し、それぞれの目標と方針を示したもの(詳細は【本提案書第4章】)。

計3回実施したまちづくりアンケートの実施概要と回答結果の一部を示す。

①第1回まちづくりアンケート

(仮称)枝川駅周辺にお住まいの皆様や事業者の皆様のご意見等を伺い、「(仮称)枝川駅周辺のまちづくり」に反映させることを目的に実施した。

■ 实施概要

実施期間	令和5年4月28日(金)～5月25日(木)
調査対象	枝川一・二・三丁目、塩浜一・二丁目、潮見一・二丁目にお住まいの方、事業者の方
回答数	1,816件（居住者:1,761件、事業者:55件） （紙面:1,408件／Web:408件）

以下3つの設問に対して、回答のテキスト文章を定量的に表した「テキストマイニング」という集計方法にて整理した。回答の中で、出現回数が多い等の「単語の重要度」が高い単語が大きく表示され、反対に出現回数が少ない等の「単語の重要度」が低い単語は小さく表示されている。また、**名詞**を青色、**動詞**を赤色、**形容詞**を緑色にて表示している。

「まちの宝(好きなところ、自慢できるところ)」
 と思うこと・場所を教えてください

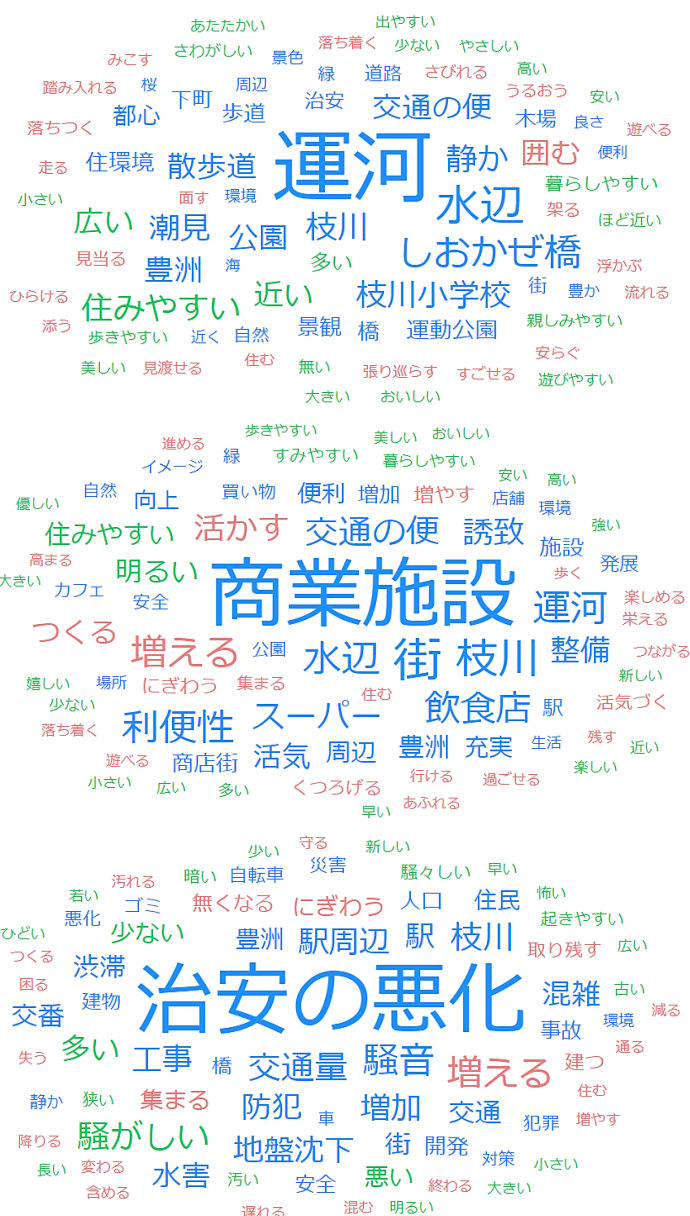
- ・「運河」や「水辺」、「静か」、「住みやすい」という回答が多く挙げられ、水辺空間が地域の重要な憩いの空間となっていることが伺える。
- ・具体的な場所としては、「しおかぜ橋」や「枝川小学校」、「潮見運動公園」などが多く挙がっていたことが分かる。

今後まちづくりを進めていくうえで
期待することを教えてください

- ・「商業施設」、「スーパー(マーケット)」、「飲食店」など商業機能の整備を期待する回答が多く挙がっていた。また、「水辺」や「運河」という単語も多くあり、水辺環境を「活かす」まちづくりへの期待が伺える。

まちづくりを進めていくうえで
不安なことを教えてください

- ・「治安の悪化」に関するご意見が圧倒的に多いことが伺える。また、「混雑」、「騒がしい」、「交通量」など、新駅設置に伴い、まちや人の流れが大きく変化することに対する不安も伺える。



②こどもアンケート

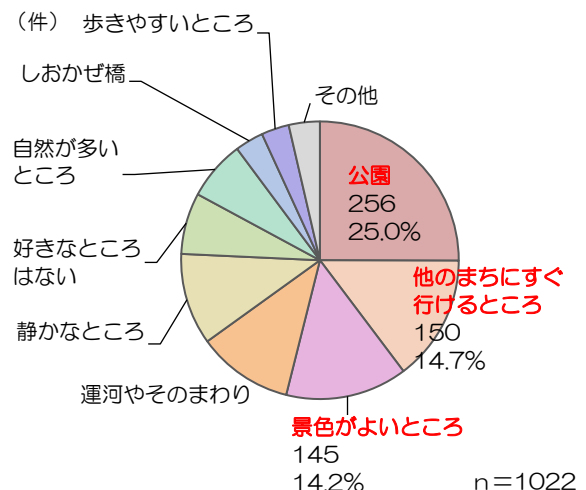
今後を担うこどもたちのご意見も踏まえたまちづくりの検討を行うことを目的に実施した。

■実施概要

実施期間	令和5年11月20日(月)～12月12日(火)
調査対象	枝川一・二・三丁目、塩浜一・二丁目、潮見一・二丁目にお住まいの18歳未満の方
回答数	1,022件（紙面:370件／Web:652件）

住んでいるまちの好きなところは
どんなところですか？

- ・「住んでいるまちの好きなところ」に関しては、第1回まちづくりアンケート内「まちの宝(好きなところ、自慢できるところ)」の結果を基に、選択肢を設定した。
- ・その結果から、こどもたちには、「公園」や「他のまちにすぐ行けるところ」、「景色が良いところ」がまちの中で特に大事に思われているということが分かる。



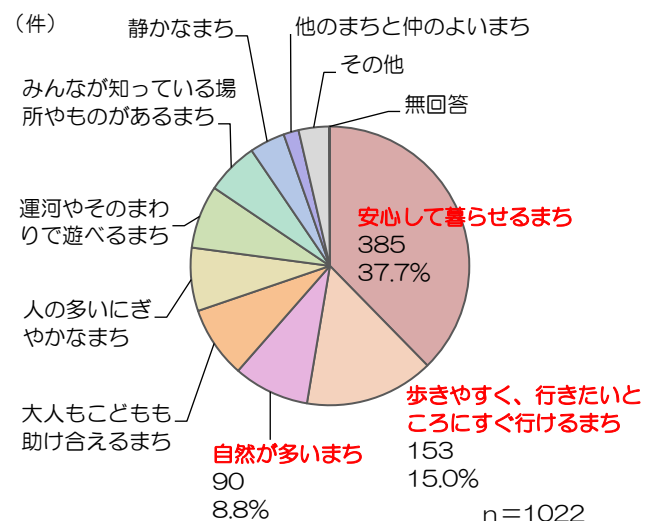
「その他」のご意見(一部抜粋)

- ・人が優しいところ
- ・友達と好きなように遊べる

- ・お散歩できる場所がたくさんあること
- ・鳥さんがたくさんいるところ
- ・釣りができるところ

十数年後の未来、新しい駅のまわりは
どんな姿になってほしいですか？

- ・「目指すまちの姿」に関しては、まちづくり協議会で検討を進めていた『(仮称)枝川駅周辺地区の目指す姿「基本方針」(素案)』の結果を基に、選択肢を設定した。
- ・その結果から、こどもたちは目指すまちの姿として、「安心して暮らせるまち」や「歩きやすく、行きたいところにすぐ行けるまち」を特に重視しているということが分かる。



「その他」のご意見(一部抜粋)

- ・しあわせなまち
- ・ゴミがない、きれいなまち

- ・買い物に困らないまち
- ・川と公園が近くにあるまち
- ・運河の水がきれいで、運河で水泳ができるまち

③第2回まちづくりアンケート

まちづくり協議会員以外の(仮称)枝川駅周辺にお住まいの皆様や事業者の皆様のご意見等を踏まえ、「まちづくり提案書」を取りまとめることを目的に実施した。

■実施概要

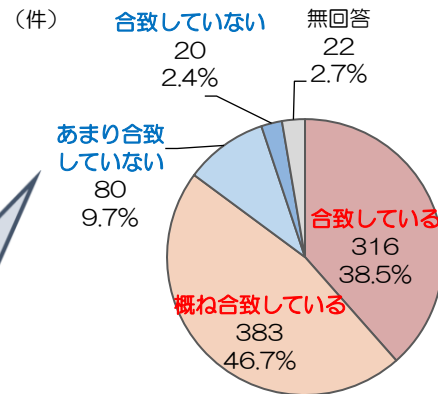
実施期間	令和6年1月15日(月)～2月5日(月)
調査対象	枝川一・二・三丁目、塩浜一・二丁目、潮見一・二丁目にお住まいの方、事業者の方
回答数	821件(紙面:530件/Web:257件/協議会活動報告会:34件)

目指す姿(全体目標・基本方針)(案)は、あなたの考えやイメージと合致していますか？

- ・イメージと合致している回答者の割合は約 85%、合致していない回答者の割合は約 12%であった。

合致していない方のご意見(一部抜粋)

- ・「子育て」という言葉をどこかに入れてはどうか。
- ・「治安・防犯対策」と明示いただきたい。
- ・にぎわいではなく、落ち着いたこどもたちや老人の憩いの場の設置を望む。



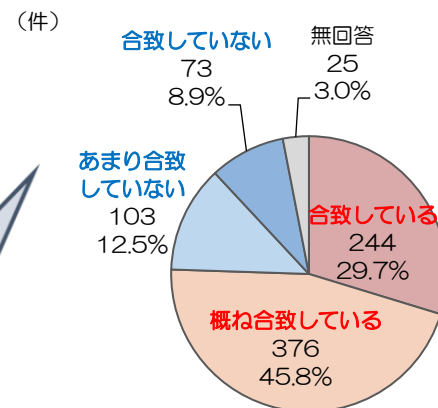
n=821

(仮称)枝川駅周辺地区の範囲(案)は、あなたの考えやイメージと合致していますか？

- ・イメージと合致している回答者の割合は約 75%、合致していない回答者の割合は約 21%であった。

合致していない方のご意見(一部抜粋)

- ・範囲が広い。
- ・範囲が少し狭いように感じた。
- ・潮見駅周辺も一緒に考えてほしい。
- ・何故道路や運河での区分けではないのか。



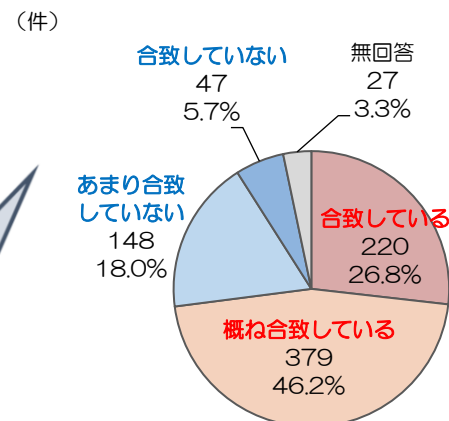
n=821

ゾーン等区分設定・ゾーン等の個別目標(案)は、あなたの考えやイメージと合致していますか？

- ・イメージと合致している回答者の割合は約 73%、合致していない回答者の割合は約 23%であった。

合致していない方のご意見(一部抜粋)

- ・もう少し具体的なイメージが伝わってこないとい何とも言えない。
- ・水辺活用ゾーンは八枝橋から暁橋までの区間も含めて考えるべき。



n=821

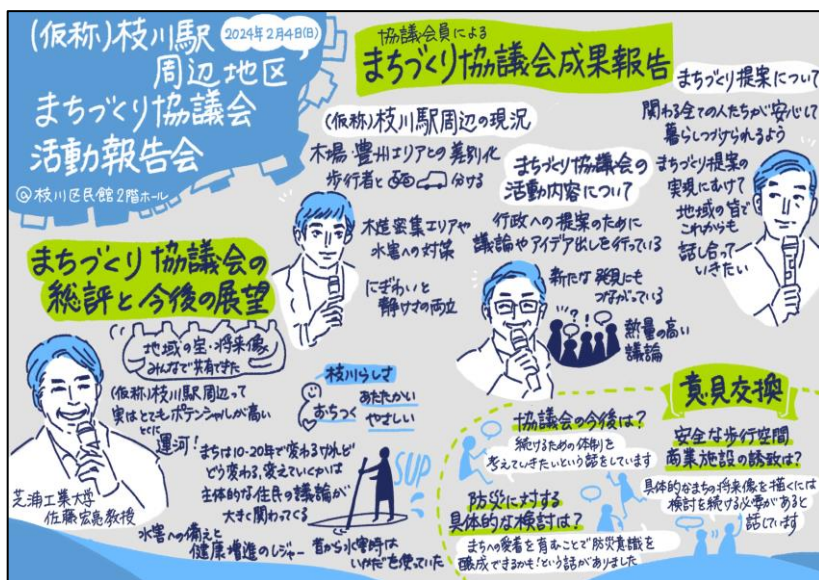
※ 小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります

3.（仮称）枝川駅周辺地区まちづくり協議会活動報告会について

まちづくり協議会が主催し、これまでの検討内容について、地域の皆様にご報告を行い、ご意見を伺うことを目的に実施した。

■実施概要

実施日	令和6年2月4日(日)13:30～16:00
会場	枝川区民館2階 ホール及び和室
来場者数	58名
内容	◆まちづくり協議会の活動成果報告及び講演 ・まちづくり協議会成果報告(まちづくり協議会員より) ・講演「まちづくり協議会の総評と今後の展望」(芝浦工業大学 佐藤宏亮教授より) ・質疑応答、意見交換 ◆まちづくり協議会の活動に関する展示



▲グラフィックレコーディング(報告会)

■成果報告に対するご意見(抜粋)

- ・商業施設の誘致について
- ・水害に対するまちづくりについて
- ・まちづくり協議会の継続について
- ・通学路の安全性確保について
- ・まちづくりアンケートを踏まえた「治安の悪化」への対策について

■来場者アンケートでいただいたご意見(抜粋)

- ・枝川が楽しいまちになり、子どもたちが住みやすいまちになるように、大人が考えていかないといけないと思いました。
- ・今回のような会に参加し、一緒にまちづくりを考えていきたい。
- ・運河の活用により、人を呼び込む案は良かった。
- ・夢と希望が広がるまちづくり提案に大いに期待しています。
- ・個人では限界があるので、地元企業や行政などの協力が不可欠。



▲協議会員による成果報告



▲佐藤教授による講演



▲大久保区長による挨拶



▲パネルを使用した成果報告

第4章 まちづくり提案

「(仮称)枝川駅周辺地区の目指す姿(全体目標・基本方針)」や「ゾーン等区分設定」、「ゾーン等の個別目標・取組アイデアの例」を検討し、まちづくりの方向性を整理した。

1. (仮称)枝川駅周辺地区の目指す姿(全体目標・基本方針)

◆ (仮称)枝川駅周辺地区の目指す姿「全体目標」

**水辺に囲まれ、安らぎとにぎわいが調和する
誰もが暮らし続けたいまち**

水辺に囲まれた地域特性を最大限活かしながら、現在の落ち着いたまちと誰もが気軽に利用できる新たなにぎわいが調和し、地域に関わるすべての人が過ごしたく・暮らしたくなるまちを目指します。

◆ (仮称)枝川駅周辺地区の目指す姿「基本方針」

安全・安心

災害に強く、いつまでも安心して暮らし続けられるまちづくり

水害をはじめとした災害対策や治安悪化に対する防犯対策、ユニバーサルデザインに配慮した安全性確保を推進し、災害に強く安全で、永く安心して暮らし続けられるまちを目指します。

暮らし・憩い

にぎわいとのかさが調和した住みやすいまちづくり

落ち着いた住宅市街地を維持しつつ、新たなにぎわいの創出や生活利便施設の充実により、穏やかで気持ちよく過ごせる住みやすいまちを目指します。

水辺・環境

水辺や緑の魅力あふれるまちづくり

水辺空間の活用を推進し、自然環境の大切さや環境負荷低減に対する関心を高めることで、未来を担うこどもたちと共に、水辺や緑の魅力あふれる持続可能なまちを目指します。

交流・にぎわい

誰もが気軽に交流し支え合うまちづくり

地域資源を活かした交流機会創出により、世代や文化、地域の垣根を超えて広くつながり、気軽に交流し支え合うまちを目指します。

交通・つながり

まちとまちがつながり、共に発展するまちづくり

多様な交通手段を活用し、回遊性向上や地域間交流を促進させ、隣まちや延伸でつながる各地域が、共に発展するまちを目指します。

2. ゾーン等区分設定とゾーン等の個別目標・取組アイデアの例

駅近傍ゾーン

◇個別目標

新駅を基点とする交通結節機能の形成のほか、飲食店や日用品が買える商業施設などの集積により、周辺地域からの来街者を呼び込むとともに生活利便性の向上を促進する。

◆取組アイデアの例

- ・コミュニティサイクルポートの増設/自転車駐車場の整備
- ・開発に伴う規制・緩和
- ・商業機能の導入



出典:「江東区Webページ」

水辺活用ゾーン

◇個別目標

ユニバーサルエリア※2に指定されている運河の水域やその周辺の活用により、多様な人々が集い交流できるにぎわいと憩いが共存し、水と緑のネットワークの核となる空間形成を促進する。

◆取組アイデアの例

- ・運河を活用したイベント等の開催
- ・こどもの遊び場を増やす
- ・運河に親しめる施設の誘導



出典:「東陽・新砂地区運河ルネサンス協議会Webページ」

水と緑のネットワーク

◇個別目標

親水性の向上と緑の充実により、誰もが集まりやすい潤いと憩いの空間形成を推進するとともに、運河でつながるまちとの結びつきを強化する。

◆取組アイデアの例

- ・散歩道のユニバーサルデザイン化
- ・散歩道の拡充
- ・運河を活かしたネットワークの形成



出典:「東京都港湾局Webページ」

交流にぎわいネットワーク

◇個別目標

安全で快適な歩行空間の確保に加え、人々が集い憩い多様な活動を繰り広げられるにぎわい空間の創出や、魅力的な店舗等を拡充し、それらを巡る楽しみを生み出すとともに、隣接する塩浜、潮見、豊洲とのつながりを強化する。

◆取組アイデアの例

- ・歩道の拡幅
- ・歩行者と車や自転車等との通行空間分離等の安全性確保



出典:「ウォーカブルポータルサイト」(松山市花園町通り)

広域交通軸

◇個別目標

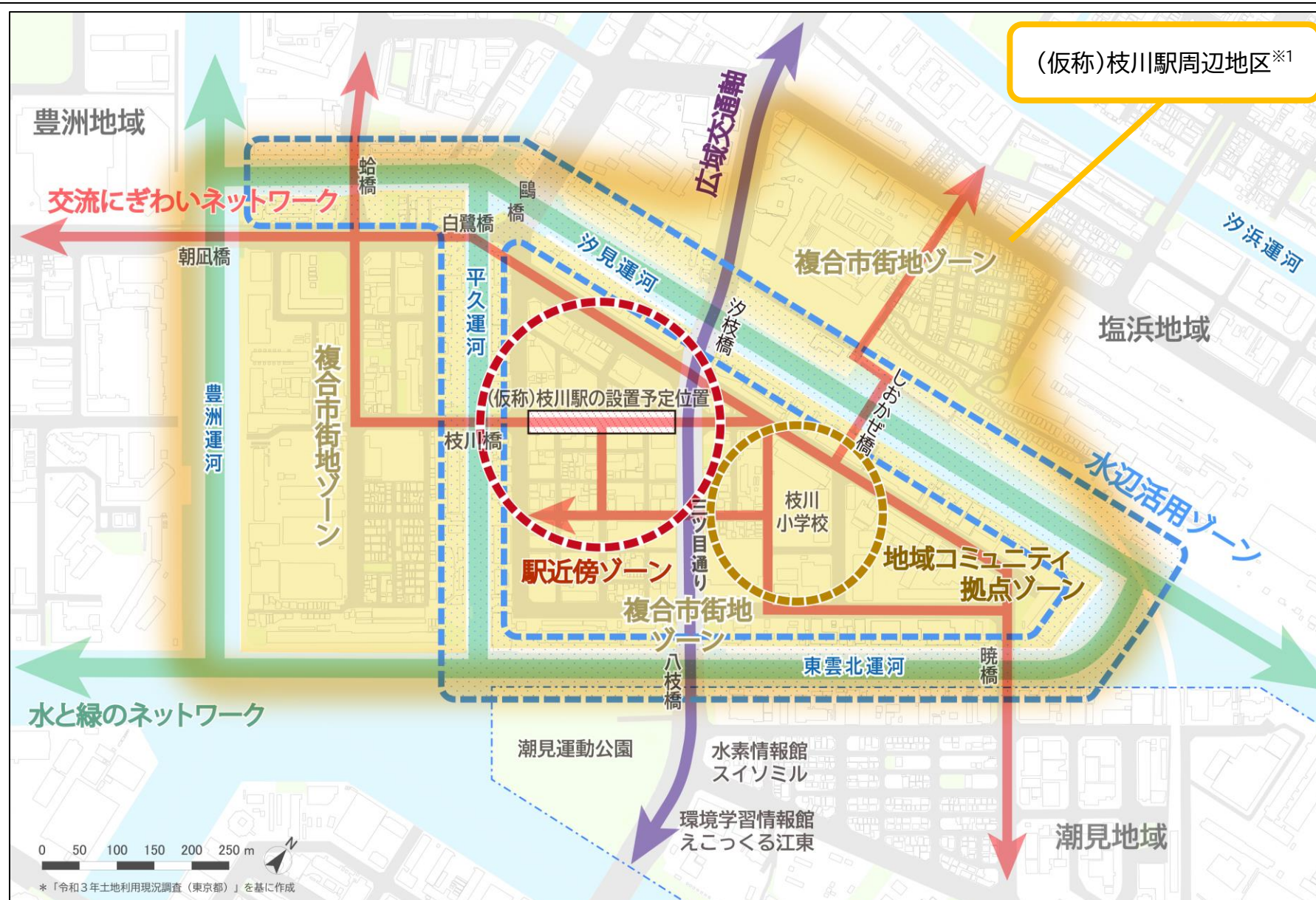
多くの人や物が行き来する幹線道路を通じて、(仮称)枝川駅周辺の魅力発信や災害時の広域避難など、隣接のまちに限らず広域的な連携を推進する。

◆取組アイデアの例

- ・歩行者と車や自転車等との通行空間分離等の安全性確保



出典:「江東区Webページ」



※1 以下の考えに基づき(仮称)枝川駅周辺地区の範囲を設定

- ①まちづくり協議会員で出した、まちづくりに関するアイデアをおおむね含む範囲
- ②まちの宝として挙げられた「しおかぜ橋」を通して、(仮称)枝川駅の利用者となる方が多く住まわれていると考えられる、塩浜地域の一部を囲むとともに、潮見地域については「まちづくり方針」がすでに別途存在しているため、今回の方針の範囲には含んでいない

※2 水上バイク等の船舶操縦者免許の必要な船は徐行での運航が義務付けられているため、日の出から日没までの間、カヌーやサップ等の水上アクティビティで利用することができるエリア

地域コミュニティ拠点ゾーン

◇個別目標

地域イベントの拠点や災害時の拠点避難所でもある枝川小学校を中心に、枝川区民館等の公共空間の活用により、良好な地域コミュニティ形成と防災力向上を推進する。

◆取組アイデアの例

- ・子育て世代の交流空間創出
- ・遊び場や学習塾等のこどものための空間を増やす
- ・水害等を想定した建物の整備を推進する

出典:「枝川二・三丁目町会Webページ」

複合市街地ゾーン

◇個別目標

住宅、商業、工業などあらゆる主体にとって安全で快適、かつ良好な市街地環境の向上を図る。

◆取組アイデアの例

- ・地域の方々が集まりやすい飲食店等の店舗の誘導
- ・水害時に避難等ができる建物を増やす
- ・街路灯の拡充等の防犯対策の強化

出典:「江東区浸水対応型まちづくりビジョン」(令和6年3月、江東区)

第5章 まちづくり協議会の各回の内容

1. まちづくり協議会の各回の内容について

① 第1回まちづくり協議会

■主な検討内容

- ・まちづくり協議会を設立(会長・副会長の選出)した。
- ・「第1回まちづくりアンケート」結果を共有した。
- ・ワールドカフェ形式を用いて、5つのトークテーマを持ったテーブルを回り、「地区の魅力と課題・目指す姿に対するまちの可能性」について自己紹介を行いながら意見交換を行った。

■当日のご意見(一部抜粋)

<水辺を活かした新たなにぎわい>

- ・運河へ行く「目的」の創出。

<自然環境が豊かな憩いや交流の空間>

- ・緑の充実、運河の回遊性向上。

<日常の買い物ができる商業機能>

- ・駅周辺の開発に合わせた商業機能の導入。

<快適な住環境>

- ・乱開発を防ぎつつ不足している機能などの充実。

<充実した地域交流機能>

- ・枝川のブランドづくりなど「訪れてみたい」まちづくり。

令和5年6月14日(水)18:30~20:30
枝川区民館2階ホール



▲会長・副会長の選出



▲グラフィックレコーディング(第1回)
グループワーク等での議論の内容を、絵や図形などのグラフィックを用いて取りまとめる手法で、重要な要素をビジュアル化することで、情報をより分かりやすく共有できるのが特徴。

② 第2回まちづくり協議会

■主な検討内容

- ・第1回まちづくり協議会と「第1回まちづくりアンケート」で挙げたまちの魅力や課題スポットを記入した、「まち歩きマップ」を見ながら(仮称)枝川駅周辺のまち歩きを行い、まちの可能性等について意見交換を行った。

※当日は悪天候のため、室内にてモニターを利用した仮想まち歩きを実施した。

■当日のご意見(一部抜粋)

<まちづくりの仕掛け・アイデア>

- ・運河を活用した水上アクティビティやランニングコースの整備、屋台村による水辺のにぎわいづくり。
- ・自転車駐車場の整備やコミュニティサイクルポートの増設による自転車交通の活性化。

<今後のまちづくりについて>

- ・外から人が集まってくる仕組みづくり。
- ・暮らしている人が安心して生活できる仕組みづくり。

令和5年7月1日(土)10:00~12:00
枝川区民館2階ホール



▲モニターを使用した仮想まち歩きの様子



▲まちの可能性についての意見交換



▲まち歩きマップ

③ 第3回まちづくり協議会

■主な検討内容

- ・第1、2回まちづくり協議会での議論を踏まえて作成した「(仮称)枝川駅周辺地区の目指す姿(事務局案)」の「全体目標」と「基本方針」に対して、ワークショップ形式で意見交換を行った。
- ・協議会で挙げられたまちづくりのアイデアを実現するためには「どこで」「どんな取組を」実施する必要があるのか等を考えながら、取組のアイデアをカードにして地図上に貼り付けた。

■当日のご意見(一部抜粋)

<(仮称)枝川駅周辺地区の目指す姿>

- ・誰もが心地よく暮らせるよう、ユニバーサルデザインを推進していきたい。
- ・既存施設や散歩道活用によるにぎわいをつくりたい。

<まちづくりのアイデア実現に向けた取組の検討>

- ・「子育て環境の充実」のために、「枝川小学校周辺」で「こどものための空間を増やす」ことが必要。
- ・「水辺空間のにぎわいづくり」のために、「汐見運河沿いの散歩道」で「キッチンカーを導入する」ことが必要。
- ・「交通機能の拡充」のために、「(仮称)枝川駅周辺」で「自転車駐車を整備する」ことが必要。

令和5年9月26日(火)19:00～21:00
枝川区民館2階ホール



▲まちの現況模型を囲んで議論している様子



▲地図にアイデアカードを置きながら意見交換



▲グラフィックレコーディング(第3回)



◀アイデアカード(取組のアイデアをカードにしたもの)

④ 第4回まちづくり協議会

■主な検討内容

- ・芝浦工業大学佐藤研究室の学生から、(仮称)枝川駅周辺の地域性を活かしたまちづくりアイデアを提案していただいた。
- ・どの取組がまちづくりの実現に特に必要であるのか等、ワークショップ形式で意見交換を行い、「まちづくり提案図(案)」を作成した。
- ・「第1回まちづくりアンケート」の結果やまちづくり協議会での議論を踏まえ、スクール形式で「(仮称)枝川駅周辺地区の範囲(案)」を検討した。

■当日のご意見(一部抜粋)

<今後のまちづくりに特に必要な取組の検討>

- ・「(仮称)枝川駅周辺」は、「新たな商業機能や飲食店等の誘導」が特に必要。
- ・「平久運河」は、「地区の特性を活かした運河の活用及び空間の整備」が特に必要。

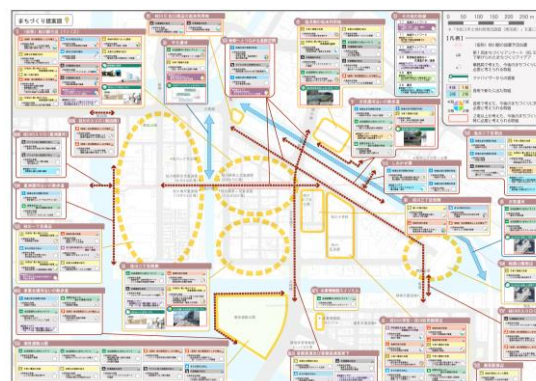
令和5年10月26日(木)19:00～21:00
枝川区民館2階ホール



▲グループでの検討結果を全体で共有



▲芝浦工業大学の学生による提案



▲作成した「まちづくり提案図(案)」

⑤ 第5回まちづくり協議会

■主な検討内容

- ・「(仮称)枝川駅周辺地区の目指す姿(全体目標・基本方針)(案)」を再度整理した。
- ・特性や目指す方向性により地区内を「〇〇ゾーン」や「〇〇ネットワーク」として細分化した、「ゾーン等区分設定(事務局案)」とそれぞれの「ゾーン等の個別目標(事務局案)」に対して、ワークショップ形式で意見交換を行った後、スクール形式で検討を行った。

■当日のご意見(一部抜粋)

<駅近傍ゾーン>

- ・駅近傍ゾーンでは、利便性の向上だけでなく来街者を呼び込むという視点も追加したい。

<複合市街地ゾーン>

- ・複合市街地ゾーンでは、この地区の特徴でもある「工業」や今後増やしていきたい「商業」と、「住環境」がどのように調和していけると良いか、今後も検討が必要。

令和5年12月5日(火)19:00~21:00
枝川区民館2階ホール



▲ゾーン等区分設定についての意見交換



▲アドバイザー(佐藤教授)を交えた意見交換



▲グラフィックレコーディング(第5回)

⑥ 第6回まちづくり協議会

■主な検討内容

- ・「こどもアンケート」結果を共有した。
- ・枝川小学校の校長先生に、「学校運営上の観点」から見たまちづくりへの意見として、安心安全なまちづくりやこどもたちが生き生きと過ごせるまちづくりを目指してほしい等のご意見を頂戴した。
- ・協議会活動報告会での成果報告や展示説明において、これまでの検討結果をどのように説明するべきか、グループに分かれて意見交換を行った。
- ・まちづくり提案書の構成について共有した。

■当日のご意見(一部抜粋)

- ・「年齢、立場、性別、住んでいる地域などの異なる協議会員が集まり、多様な視点でまちづくりを検討した。様々な“気づき”のある協議を行うことができ、また、枝川・塩浜・潮見のつながりを築けた」ということを伝えたい。
- ・一方的かつ事務的に協議会のことを伝えるのではなく、報告会に来てくださった方のご意見や想いを伺いたい。

令和6年1月17日(水)19:00~21:00
枝川区民館2階ホール



▲枝川小学校校長からのご意見の共有



▲協議会活動報告会に向けた発表内容の検討



⑦ まちづくり協議会活動報告会

⇒18頁に詳細記載

令和6年2月4日(日)13:30~16:00
枝川区民館2階ホール

⑧ 第7回まちづくり協議会

■主な検討内容

- ・各アンケートや報告会で頂戴したご意見を踏まえた、「まちづくり提案(事務局案)」に対する意見交換、「まちづくり提案書(素案)」の検討を行った。
- ・地域が主体的に活動する他地区のまちづくり類似事例を共有した。

- ①水辺空間のにぎわいづくり
- ②住民の意向に沿った開発
- ③地域交流の促進

■当日のご意見(一部抜粋)

- ・アンケート等のご意見を踏まえた「水辺活用ゾーン」の範囲変更、「枝川小学校・区民館」範囲と名称変更については、事務局案の通りで良いと思う。
- ・取組アイデアの例には「防犯」に関する記述を追加したい。
- ・範囲の意味合い等、図だけでも誤解無く伝わるように「地区の範囲」の考え方の説明を入れたほうが良い。
- ・「水辺活用ゾーン」はユニバーサルエリアの水域を範囲としたということやユニバーサルエリアが何かということの説明があると良い。

令和6年2月21日(水)19:00～21:00
枝川区民館2階ホール



▲3班に分かれての「まちづくり提案(事務局案)」に対する意見交換

⑨ 第8回まちづくり協議会

■主な検討内容

- ・「まちづくり提案書(案)」の修正箇所等について、事務局より説明を行い、「まちづくり提案書」として完成させることに対して参加会員一致で合意した。
- ・「新たなまちづくり組織」発足の必要性や検討内容、「新たなまちづくり組織」に参加しなくてもできること、全8回の協議会を通しての感想等について、グループに分かれて意見交換を行った後、スクール形式で共有を行った。

■当日のご意見(一部抜粋)

<これまでの協議会を通しての感想等>

- ・協議会を通して、自分の住むまちを再理解できた。
- ・地元住民の意見を文書として残すことができて良かった。

<今後の協議会のあり方について>

- ・まちづくり協議会の議論や成果を次につなげるためにも、「新たなまちづくり組織」が必要である。
- ・区が策定するまちづくり方針を見守る役割、まちの情報の周知を行い、地域の意見の受け皿となる役割として、「新たなまちづくり組織」が存在すると良い。

令和6年6月19日(水)18:30～21:00
枝川区民館2階ホール



▲「まちづくり提案書(案)」の合意



▲記念撮影

（仮称）枝川駅周辺地区まちづくり協議会

令和6年7月